

店頭から
「こんにちは」

第66回

何かにチャレンジを 決して遅くはないのが人生

多才な方が、宮川薬局を訪ねます。
今月は、そのエピソードを。

油絵に句に写真も

21世紀元年、店舗を建て替えて新装開店したとき、油絵で全景を描いてくださった男性。本当は、雪が積もった情景を描きたかったのですが、その年、雪は降らなかったの、夜景に切り替えたそうです。

私たちの姿も描かれていて、離れて見ると、写真と見間違えるほど、忠実な描写。

夫人のお買い物中、自動車の中で、「吾が妻は八十過ぎても 若がへる 薬効とどく宮川の関」と、一句詠み、毛筆で色紙にスラスラと。店内に飾っておくと、内容はもちろん、達者な筆遣いにも、来店されたお客様たちは感心を。

墨絵が趣味の男性は、色紙に、季節の花を描き、水彩絵の具で薄く色をつけます。

月に2枚のペースでいただき、総数は60枚以上。今でも毎月1～2回、入れ換え飾っています。

ある日、写真が趣味というお客様から、額縁ごと作品をいただいたことも。

山形・月山のブナ林で撮影したそうです。しかも、雨の日。

私は、雨降りは大嫌いなので、一生撮れそうにありません。

何でも、写真コンテストで推薦の賞をいただいたとか。さすがです。

お礼の手紙をお送りすると、写真の専門誌をくださいました。「いろいろな写真を見て、目を肥やしなさい」というわけなのでしょう。

脳の花馬に刺激を

かくいう私も、地元の大学で行われている生涯教育講座のフォトクラブに入会しています。照明の当て方や、ストロボの特殊な使い方などを基礎から学び直したりしているところです。

生涯初だったのは、若い女性をモデルにした撮影会。200回位シャッターを切り、気に入ったのは2～3枚でした。

ただ、私が気に入ったものと、写真としていいというのは別問題のようです。まだまだ修行の足りなさを、思い知らされました。



吾が妻は
八十過ぎても
若がへる
宮川の関
薬効とどく



宮川薬局には作品がたくさん

ともあれ、才能のあるなしに関わらず、ストレス発散ができることをしたり、心のモヤモヤがスウ〜と晴れるような楽しいことを心の中で思ったり——。これは、コーディングというストレス治療法にも取り入れられています。

脳の花馬によい刺激となり、うつ状態の緩和だけでなく、認知症の予防にもなるらしいのです。

みなさんも、何かにチャレンジしてみてください。今からでも、決して遅くはないのですから。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

「いろいろなことに挑戦しましょう」

